

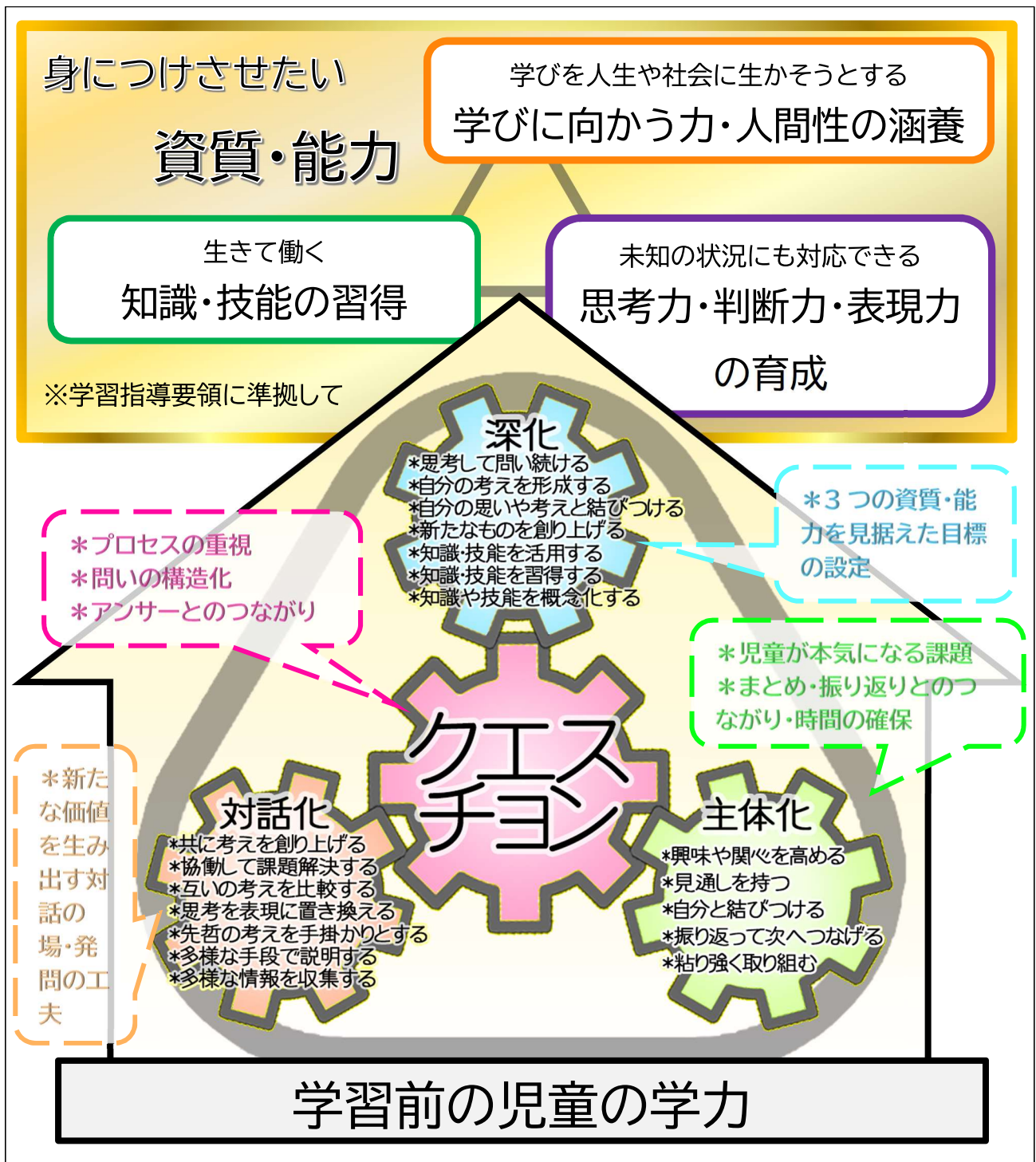
1. 研究主題の検討

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

(1) 主題設定の理由

- ・令和3年度末職員当初アンケートより
- ・小中高一貫教育のテーマになぞらえて

(2) 研究主題に迫るアプローチのイメージ



(3) 主体的な学びとは (小学校学習指導要領解説 総則編より)

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び

(4) 対話的な学びとは (小学校学習指導要領解説 総則編より)

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び

(5) 深い学びとは (小学校学習指導要領解説 総則編より)

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び

※「見方・考え方」とは、どのような視点で物事をとらえ、どのような考え方で物事を考えていくかという、その教科・領域ならではの物事をとらえる視点や考え方であり、各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすもの(別添資料参照)

(6) 「クエスチョン」とは (澤井陽介 [2019] による定義)

クエスチョンとは、子供が頭を働かせる自動装置です。この装置が自動的に作動するには仕掛けが必要です。「見方・考え方を働かせる」「主体的に取り組む」「対話的に考えを広げる、まとめる」ことを促す仕掛けです。

(7) 「クエスチョン」を中心に据えた授業の要点

◎学習指導要領を軸とした、本単元、本時の目標(アンサー)の設定

◎「アンサー」を達成するための「クエスチョン」の構造化

- ・ **きっかけの問い** (教材との出会いからつなぐもの)
- ・ **手立ての問い** (児童が自分事として捉えられる課題へと導く問い)
- ・ **真の問い** («手立ての問い」の裏側にある、本時のねらいとなるもの)
- ・ **目標に迫る問い** («アンサー」へとたどり着くための問い)
- ・ **振り返りを促す問い** (児童が自らの学びを認識するための問い)

◎教材との出会いの工夫

○具体物の提示

- ・写真や図表、動画、楽譜、絵、デジタル教科書
- ・資料の段階的な提示 ・複数の資料の比較・対比 など

○既習事項の振り返り

- ・前時までのノートや掲示物 など

○実演

- ・教師による実験、制作などの実演・演示 ・子ども自身が試す活動 など

○児童との対話

- ・生活経験や既習事項を想起させる対話 など

◎児童に課題を届け、児童が見通しを持てる時間・機会の確保

- <結果の見通し> ・答えを予想する ・仮説を立てる ・作品の完成図を構想する など
- <方法の見通し> ・これまでの学習で使えることは何か ・どのような順序で行うか など

◎児童自らが学習のまとめやふりかえりを行う時間・機会の確保

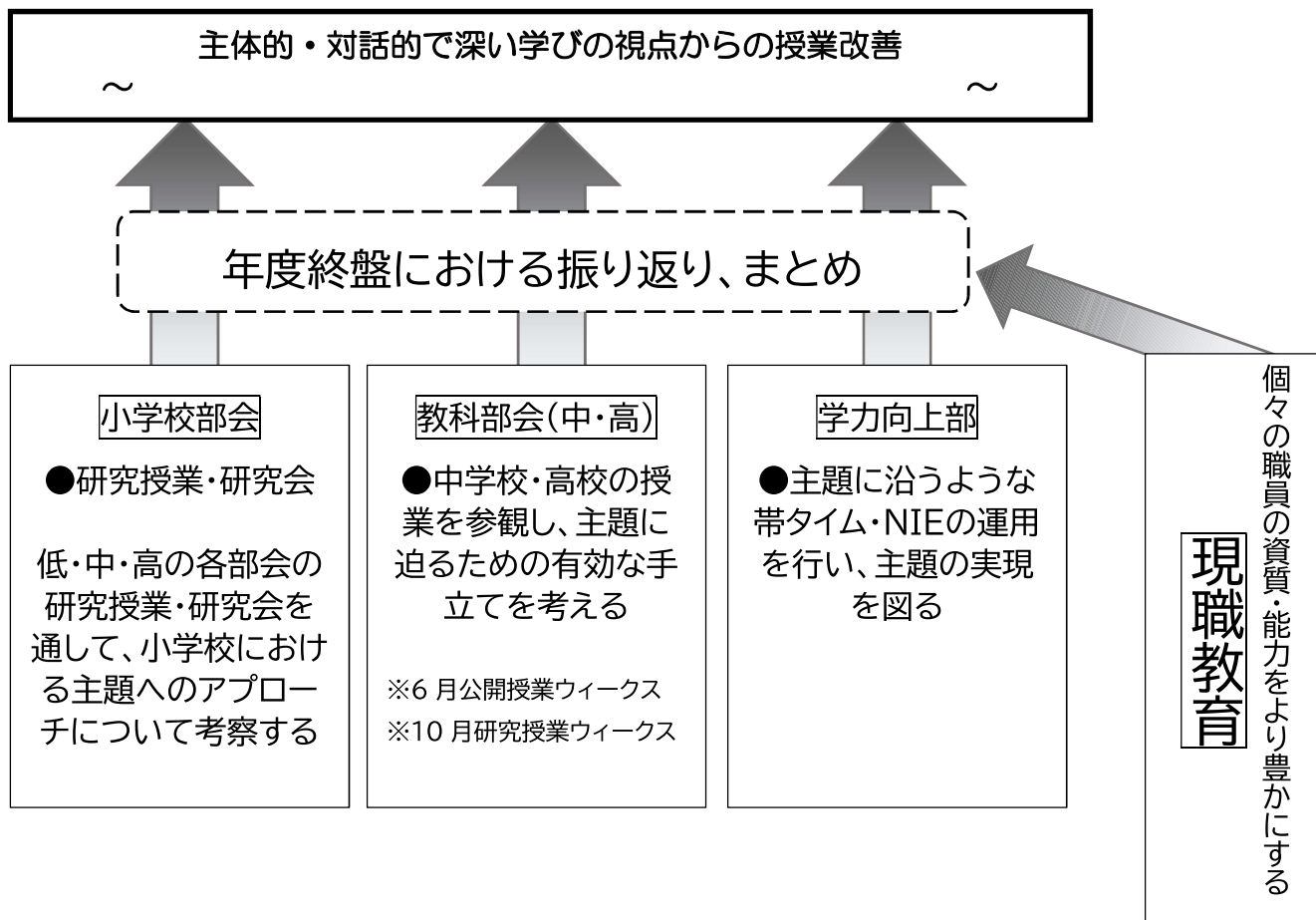
手立ての例

- * 順序を変える
- * 選択肢をつくる
- * 置き換える
 - * 隠す
 - * 加える
- * 限定する
- * 分類する
- * 図解する
- * 配置する
- * 仮定する

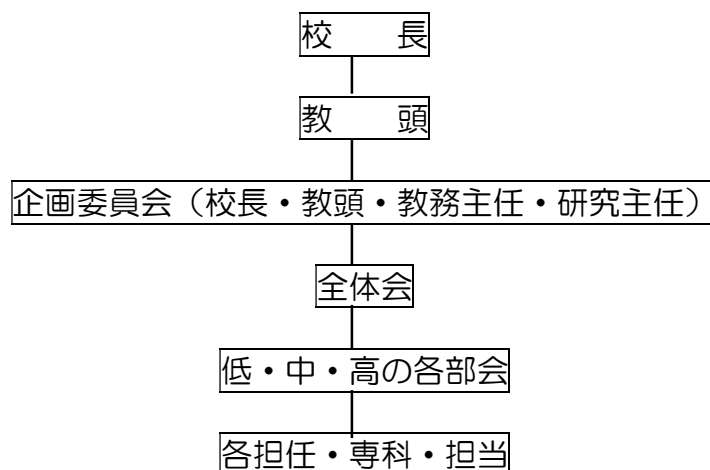
【資料 クエスチョンを構造的に取り入れた授業実践の例】

展開	児童の学習活動	研究の視点
導入	1. 前時を振り返り、音真似をする。 2. 同じ音でも、シチュエーションが違えば音色が変わることに気づく。 ⑤ □こんな時には、音はどう変わるかな？ 3. 主教師が出題するクイズに取り組む。 4. 自分たちでもクイズをしたいという気持ちを高め、めあてをたてる。 ⑥ □音当てクイズをしよう！	◎教材との出会いの工夫
展開	5. 主クイズの作り方を理解する。 6. 主対教師から表現する音カード（お題）をグループごとにもらい、それをグループ内で話し合いながら表現を工夫し、クイズの準備をすすめる。（自力解決⇒対話） 7. 対グループごとにクイズをし、発表された音の差異について気づいたことを発表する。 ⑦ □どんな音のちがいに気が付いたのかな？	◎児童の課題を届ける
終末	8. 主学習感想を書く。 ⑧ □どうして、音当てクイズがうまくいったのかな？ 9. 対学習感想を交流する。	◎振り返りの機会の確保

2. 研究の内容・方法



3. 研究組織について



4. 年間計画

月 日	研 修 内 容		
	小中高一貫教育	小学校部会	現職教育
① 4/22 (金)	教育説明会	基礎研究・研究副主題決定	
② 5/10 (火)		提案授業・研究会	
③ 6/7 (木)			救急時訓練 (小泊)
④ 6/14 (火)		各部会指導案検討①	
6/20 (火) ~	公開授業ウィーク (~7/2)	各部会授業ステップ①	
⑤ 7/21 (水)	一貫合同会議	各部会指導案検討②	
⑥ 7/22 (金)		各部会指導案検討③	
⑦ 7/25 (月)		NRT分析	
⑧ 9/20 (火)		部会授業・研究会①	
⑨ 9/27 (火)		部会授業・研究会②	
10月中?	研修研究ウィーク		
⑩ 10/11 (火)		小学校部会授業検討会	要調整
⑪ 10/25 (火)		小学校部会授業・研究会	
11/24 (木)	一貫合同部会		
⑫ 12/23 (金)			ファミリープログラム研修(???)
⑬ 1/18 (火)		校内研修の反省記入	
⑭ 2/7 (火)		次年度に向けて	
2/10 (金)	小中高一貫全体会		
合計回数	4回	13回	2回

主な参考資料

- ・小学校学習指導要領 解説編 [2017] 文部科学省
- ・教師の学びかた [2019] 澤井陽介
- ・授業づくりの設計図 [2020] 澤井陽介
- ・授業に「しかけ」をつくる国語授業10の方法 [2013] 桂聖
- ・主体的・対話的で深い学び パンフレット [?] 福島県教育センター
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/img/kyouiku/attachment/902204.pdf>
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善【理論編】 [2018] 栃木県総合教育センター
http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/h30_jyugyokaizen/pdf/h29_jyugyokaizen_all.pdf
- ・主体的・対話的で深い学び 実践ハンドブック [2019] 新潟県立教育センター
<https://www.nipec.nein.ed.jp/project/kaizen/handbook2.pdf>